



学校法人 本山学園

岡山医療専門職大学

2021 年度事業報告書



令和3年度学校法人本山学園事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1 法人の概要

(1) 基本情報

【法人の名称】学校法人 本山学園

【所在地】岡山県岡山市北区大供三丁目 2-18

【理事長】室山 義正

(2) 建学の精神

- ・豊かな人間性と創造力を養う
- ・自主の精神を養う
- ・国際的視野を養う

(3) 学校法人の沿革

昭和43年10月	西日本調理師学校 調理師科として厚生大臣認可
昭和46年3月	西日本調理師学校 調理師科として岡山県認可
昭和49年4月	西日本調理師学校を岡山市中区浜2丁目に移転
昭和56年3月	西日本調理師専門学校として厚生大臣、岡山県認可
昭和57年4月	西日本調理師専門学校に製菓衛生師科(現:スイーツ科)設置
昭和60年2月	学校法人厚徳栄養総合学園設立(平成14年4月学校法人本山学園に名称変更)
平成4年4月	岡山健康医療技術専門学校を岡山市中区浜3丁目に設立、厚生大臣認可、岡山県認可
平成14年1月	西日本調理師専門学校、岡山健康医療技術専門学校を岡山市北区大供3丁目に移転
平成14年4月	学校法人本山学園 西日本調理製菓専門学校に改称、岡山医療技術専門学校に改称
平成16年4月	岡山医療技術専門学校理学療法学科・作業療法学科夜間部を設置
平成18年4月	西日本調理製菓専門学校にパティシエ・ブランジェコース設置
平成21年3月	岡山医療技術専門学校理学療法学科・作業療法学科夜間部を終了
平成21年4月	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校設立、厚生労働大臣、岡山県認可、岡山医療技術専門学校に医療福祉ビジネス学科設置
平成25年4月	西日本調理製菓専門学校 調理師科を調理師科 調理コース、パティシエ・ブランジェコースを製菓・製パン科 パティシエ・ブランジェコース、製菓衛生師科を製菓・製パン科 製菓コースに改称、調理師科 総合調理福祉専攻コース設置
平成26年4月	西日本調理製菓専門学校に総合調理福祉専攻コースを総合調理専攻科、調理師科 調理コースを調理師科、製菓・製パン科パティシエ・ブランジェコースをパティシエ・ブランジェ科、製菓・製パン科 製菓衛生師科をスイーツ科に改称
平成26年4月	西日本調理製菓専門学校パティシエ・ブランジェ科が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に認定
平成28年2月	西日本調理製菓専門学校総合調理専攻科が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に認定

平成 28 年 2 月	岡山医療技術専門学校理学療法学科・作業療法学科・医療福祉ビジネス学科が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に認定
平成 28 年 2 月	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校歯科衛生学科が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に認定
平成 28 年 4 月	岡山医療技術専門学校医療福祉ビジネス学科を医療事務学科に改称
平成 29 年 4 月	岡山医療技術専門学校医療事務学科の修業年限変更（2 年制を 1 年制に変更）
平成 30 年 12 月	西日本調理製菓専門学校 調理師科定員数変更（120 名を 80 名に変更）
平成 31 年 4 月	新館・新図書館完成
令和元年 11 月	学校法人本山学園組織変更認可
令和元年 11 月	岡山医療専門職大学 健康科学部 設置認可
令和 2 年 4 月	岡山医療専門職大学 健康科学部 開学

（４）設置する学校等

1) 岡山医療専門職大学（令和元年 11 月 11 日認可、令和 2 年 4 月 1 日開学）

学長 浅利 正二

- ・健康科学部 理学療法学科
- 作業療法学科

2) 西日本調理製菓専門学校

学校長 早野 充

3) インターナショナル岡山歯科衛生専門学校

学校長 塩田 雄太郎

4) 岡山医療技術専門学校

学校長 塩田 雄太郎

（５）学校・学科等の学生数の状況（令和 3 年 5 月 1 日現在）

【専門職大学】令和 2 年 4 月 1 日開学

学校名	学部・学科名	修業 年限	入学 定員数	収容 定員数	現員数
岡山医療専門職大学	健康科学部理学療法学科	4 年	80	320	100
	健康科学部作業療法学科	4 年	40	160	29
	計	—	120	480	129

【専修学校】

学校名	学科名	修業 年限	入学 定員数	収容 定員数	現員数
西日本調理製菓 専門学校	総合調理専攻科	2年	40	80	70
	調理師科	1年	70	70	58
	パティシエ・ブランジェ科	2年	40	80	70
	スイーツ科	1年	40	40	54
	計	—	190	270	252
岡山医療技術 専門学校	理学療法学科	3年	80	240	36
	作業療法学科	3年	40	120	11
	医療事務学科	1年	40	40	—
	計	—	160	400	47
インターナショナル 岡山歯科衛生専門学校	歯科衛生学科	3年	48	144	134
	計	—	48	144	134
合計		—	398	814	433

(6) 役員等の状況

①理事・監事

理事定数：6人 現員：6名、監事定数：2名 現員：2名

職名	氏名	常勤・ 非常勤	学内外 の別	任期	摘要
理事長	室山 義正	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第6条第2項 第7条第1項第4号 学識経験者
副理事長	本山 康代	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第7条第1項第3号 評議員選出
理事	浅利 正二	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第7条第1項第1号 岡山医療専門職大学学長
理事	早野 充	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第7条第1項第2号 西日本調理製菓専門学校 学校長
理事	中井 達	非常勤	学外	2020年4月1日 ～2022年3月31日	第7条第1項第4号 学識経験者
理事	山口 輝見子	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第7条第1項第4号 学識経験者
監事	石田 正美	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第8条第1項
監事	目黒 宏平	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第8条第1項

②評議員一覧

評議員定数：13人 現員：13名

職名	氏名	常勤・非常勤別	学内外の別	任期	選任区分
評議員	本山 康代	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第1号 (評議員選任理事)
評議員	室山 哲雄	常勤	学内	2021年5月27日 ～2022年3月31日	第26条第1項第1号 (教職員)
評議員	森 和男	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第1号 (教職員)
評議員	春名 弥生	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第2号 (卒業生)
評議員	重田 宏明	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第2号 (卒業生)
評議員	山内 さとみ	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月15日	第26条第1項第2号 (卒業生)
評議員	那須 宣宏	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第2号 (卒業生)
評議員	野口 泰子	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第2号 (卒業生)
評議員	小坂田 良巳	常勤	学内	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第3号 (学識経験者)
評議員	山根 一人	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第3号 (学識経験者)
評議員	國定 保宏	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第3号 (学識経験者)
評議員	平林 真弓	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第3号 (学識経験者)
評議員	遠藤 佐織	非常勤	学外	2018年4月1日 ～2022年3月31日	第26条第1項第3号 (学識経験者)

(7) 教職員の概要 (令和3年5月1日現在)

1) 教員

【専門職大学】専任教員

学科	教授	准教授	講師	助教	助手	合計(名)
理学療法学科	5	2	3	3	0	13
作業療法学科	4	1	1	2	0	8
計	9	3	4	5	0	21

【専修学校】

区分		西日本調理製菓 専門学校	インターナショナル 岡山歯科衛生専門学校	岡山医療技術 専門学校	計
教員	本務	12	6	8	26
	兼務	23	41	2	66
計		35	47	10	92

2) 職員の状況

法人 本部	岡山医療専門職 大学	西日本調理製菓 専門学校	インターナショナル 岡山歯科衛生専門学校	岡山医療技術 専門学校	計
1	21	3	1	1	27

令和3年度岡山医療専門職大学事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I 事業の概要

岡山医療専門職大学は健康科学部理学療法学科、作業療法学科2学科を設置する専門職大学として令和2年4月1日に開学した。令和5年度を到達点とするビジョンと、そのビジョンを達成するために令和2年～5年度の4ヶ年計画を定めているが、本年度はその2年目となった。

【岡山医療専門職大学 学年進行期におけるビジョンと目標】

<ビジョン>

大学としての基盤を確立し、ワンランク上の人材を育成し、学生が学生を呼び、地域社会から評価され尊敬される大学に成長し、中国地方唯一の専門職大学の責務を果たす。

<目標>

- ・質を伴う学生を安定的に確保する。
- ・専門職大学としての教育の水準と実績を担保する。
- ・「実践の理論」を重視した研究活動を推進する。
- ・教員の資質と力量の向上に努める。
- ・地域間及び大学間連携を推進する。
- ・大学としての品格を深める。

令和3年度は前記目標の2年目の達成度について検証する。

まず「学生の安定的な確保」については、初年度は認可の時期的な問題や専門職大学の認知度の低さ等の要因もあり、充足率は35.8%と低率であった。この結果を受けて、令和3年度には、オープンキャンパスをはじめとするあらゆる機会を通じて受験生への本学の特徴の周知徹底を図り充足率の改善に努めた。その結果、理学療法学科では86.3%、作業療法学科では45.0%の充足率となった。いずれも初年度よりは改善したが、なお十分ではなかった。さらなる充足率向上に向けての対策が必要である。2つ目の「教育の水準と実績の担保」については、専門職大学の特徴である「理論と実践を架橋した教育」の実践を目指した教育を図ってきた。その効果については今後増えてくる実務教育の中で活かされることが期待される。3つ目の「研究活動」については、各教員は「実践の理論」に重きを置いた研究に取り組んできた。令和3年度の学術業績については、現時点では集計中であるので詳細な執筆論文数や学会発表数は報告できないが、昨年度と同様あるいはそれを上回る実績であったと感じている。外部資金獲得では、科研費の採択は、基盤研究(C)が1件、若手研究1件の計2件であった。他の外部資金の獲得は1件であった。研究活動においては、本学での研究は実践的研究が主であるため、コロナ禍の中での研究の推進には多大な影響を受けたが、初年度に引き続いて成果を上げることができた。4つ目の「教員の資質と力量の向上」については、学外講師によるFD活動に加えて、毎週定期的に教員全員が集まってFD活動の一環としての勉強会を開催し、各教員の教育に対する姿勢や考え方、実践方法等や研究に関する知識や情報を発表し、教員の資質と力量の向上に努め、教育の水準と実績の担保を図るべく努力した。5つ目の「連携」に関しては、開学と同時に「大学コンソーシアム岡山」に加盟し、2回開催された代表者会議に出席し、各大学との

意見交換を行った。また大学コンソーシアム岡山が主催する各種会議やイベントへの参加により、大学間および地域との連携を図った。本コンソーシアムが主催する市民向けの公開講座「吉備創生カレッジ」には2回講師を派遣し、各講師の専門領域の市民への啓蒙を図った。さらに令和2年度に発足した全国の専門職大学で組織される「専門職大学コンソーシアム」に参画（Web会議）して意見発表を行い、専門職大学間の連携を図った。令和3年度には、新たに岡山県下の県立高校との連携を図るため岡山県教育委員会との間で連携協力の協定書を交わした。この協定に基づき、今後高大連携を具体的に進めていく計画である。最後の「大学としての品格」については、将来の医療人に必要な接遇について解説した「学生の品格」と題する小冊子（B5版 61ページ）を製作し全学生に配付し、接遇教育の充実を図った。

また、令和3年9月には、令和2年度の大学及び教職員の活動実績をまとめた「岡山医療専門職大学年報 2020（令和2）年度」を発行した。

このような令和3年度の活動を総括すると、初年度に比べ改善したとは言え、なお充足率の確保に課題を残したが、この課題を除いた他の目標については、ほぼ達成できたと思われる。

具体的な大学運営としては、令和3年度における入学式と卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から厳重な感染対策の下で、対象者を教職員の一部と入学者及び卒業者に限って行った。一方、授業の遂行においては、令和3年度も全国的な新型コロナウイルス感染の蔓延により、全国的に教育環境の確保に多大な影響が出たが、本学では令和2年度に続き「学生の健康が第一」と「教育の場と質の担保」の両立を目指して、「新型コロナウイルス対策委員会」の指導の下、種々なる徹底した感染対策を行うことにより、令和3年度も全国の大学では数少ない年間を通しての全科目の対面授業を実施することができた。

本学では、ディプロマポリシーに掲げる人材育成のため、教育内容の検討、カリキュラム整備、FD研修、広報活動などに取り組んだ。

臨地実務実習については、令和4年2月に学外にて見学実習の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学外医療機関での実施は行わず、医療機関から講師を派遣もしくはZoomを利用したWeb講義で代替した。代替実習であったが、学外講師からは臨場感あふれる授業の提供を受け、終了後の学生評価では非常に高い満足度が得られた。次年度以降の臨地実務実習については、実習内容がより有意義な実習となるように再検討を行った。実習施設については、新規実習先確保のための活動を実施した。

また、専任教員の専門知識・指導力向上を目的とし、学内外での研修に積極的に参加し自己研鑽を行った。FD研修として毎週、全教員が集まって勉強会を実施し、各教員間の教育に関する実践方法や研究紹介などを行い、情報共有を図り、教育の質の向上を図った。さらに国内外の学会発表、本学の紀要を含め国内外の学術雑誌に投稿する等、積極的に研究活動にも精進した。

II 事業報告

1. 教育領域

本学では、全国的なコロナ禍においても、「学生の健康が第一」と「教育の場と質の担保」の両立を目指して、徹底した感染症対策を行うことにより、全国の大学では数少ない年間を通しての全科目の対面授業の実施に成功した。また本学では、ディプロマポリシーに掲げる人材育成のため、教育内容の検討、カリキュラム整備、国家試験サポート等に取り組んだ。

(1) 教育内容改革

令和3年度の教育課程としては、2年次生に1年次生が新たに加わった。2年次生に対しては、1年次生で基礎科目が中心であった教育内容から、漸次職業専門科目の比重が高まっていくことから、専門職大学の特徴である「理論と実践の架橋」を取り込んだ教育内容の実践を図った。1年次生に対しては、高校教育から大学教育への橋渡しの科目である大学入門と基礎科目が中心となる。前者においては、10人以下の小グループ教育となるため、担当教員は各々綿密な連携を図り、各グループ間での教育内容の調整や質向上を図った。後者においては、コミュニケーション英語では、臨場感をもった内容に工夫するなど、将来の医療人の基盤となる資質の涵養に努めた。

(2) カリキュラム整備

現在学年進行中であるため、原則的にはカリキュラムの変更・整備を行うことができない。一方、教育課程連携協議会で指摘を受けた内容については対応可能とのことであるが、令和3年度は協議会からの指摘はなくほぼ目的に沿った教育課程が遂行できているとの評価であったので、現時点では具体的な変更・整備は行っていない。今後に向けては、地域や行政との連携を進めることを提案された。

(3) 国家試験サポート

国家試験対策委員会を組織し、組織的に、より効果的な国家試験対策を検討し、国家試験対策指導に反映し、1年次から模擬試験を実施するなど、学生に対して国家試験への意識づけを図った。「スマコク for PT/OT」を導入しアプリケーションを利用した国家試験対策を1年次から実施した。2年次生に対しては、複数回の学内模擬試験を実施し、個別指導や補講を行い、さらに医歯薬3科目摸試を受験するよう指導し、国試に対する意識づけを強化した。

(4) 教育サポート

・実践英語レッスン

ベルリッツランゲージセンター岡山と契約し、ネイティブ講師による英会話レッスンを週に2回、前期、後期で実施した。

(5) 行事・交流関連（学内・学外）

・新入生歓迎会

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、学科単位で新入生歓迎会を実施し、教員と学生の交流を図った。

- ・節分行事（4校合同豆まき大会）（2月）

三密を避けるために恒例の豆まきは実施せず、クラス単位で豆セットを配布した。

- ・防災避難訓練（4月避難経路確認、11月避難訓練実施）

2. 研究領域

（1）科研費の獲得状況

令和3年度の科研費採択状況は、基盤研究（C）1件、若手研究1件の計2件であった。

研究種目 基盤研究(C)

研究課題名	研究代表者			2021年度 直接経費 ※単位千円
	所属	職	氏名	
成長期の女子中学・高校生におけるDNA損傷・修復能力に基づいた部活動水準の探求	健康科学部	教授	安田従生	400

研究種目 若手研究

研究課題名	研究代表者			2021年度 直接経費 ※単位千円
	所属	職	氏名	
肥満は糖化ストレスによる骨格筋毛細血管退行を促進するか	健康科学部	助教	田中雅侑	1,500

（2）その他の研究費獲得状況

助成団体：2020年度日本糖尿病協会若手研究者助成（日本糖尿病協会）

研究代表者：片岡弘明（健康科学部理学療法学科 准教授）

助成金額：980,000円

3. 教育・研究活動の質の保証と向上

専任教員の専門知識・指導力向上を目的とし、学内外での研修に積極的に参加し自己研鑽を行った。また専任教員の授業能力や教育効果を高めるためのFD研修を、学部長を中心に毎週実施した。全教員が集まって勉強会を実施し、各教員間の教育に関する実践方法や研究紹介等を行い、教育の質の向上や研究内容の共有を図った。この勉強会は、各教員の教育に対する姿勢や考え方、実践方法等や研究に関する知識や情報の共有を図ることができ、連携を強めることができた。また勉強会で得られた知識を教育現場へフィードバックすることにより教育の質を高めることができた。さらに学術雑誌「岡山健康科学」の発行をはじめとし、国内外の学会発表、国内外の学術雑誌への投稿等、積極的に研究活動にも精進した。職員の資質向上のためにSD活動の強化にも努め、事務専門職としての能力を高めた。

前期・後期の講義最終日に学生による授業評価アンケートを実施しその結果を講義担当者にフィードバックし、さらに学長の評価を受け、講義内容や構成の改善に役立てた。授業評価アンケート結果は、大学ホームページで公表している。

(1) FD 研修

日程	時間	テーマ	講師
2021.04.14	13:00～ 14:10	授業方法についての検討～ () 抜き教材は有効か?～	理学療法学科 横山暁大講師
2021.04.21	13:00～ 14:10	特別支援教育における作業療法	作業療法学科 野口泰子助教
2021.04.28	13:00～ 14:10	身体障害領域作業療法の紹介ー「運動学習理論に基づくリハビリテーションの実践, 医歯薬出版, 2008年」の症例DVDを通して	作業療法学科 二木淑子教授
2021.05.12	13:00～ 14:10	私が考える授業の実践と授業参観の観点	浅利正二学長
2021.05.19	13:00～ 14:10	スマコク使用方法について (Zoom 説明会)	国試対策委員会委員長 明日 徹教授
2021.06.09	13:00～ 14:10	今年度の授業の取り組み (Zoom)	理学療法学科 下瀬良太准教授
2021.06.16	13:00～ 14:10	日本における認知症者の QOL 評価について (Zoom)	作業療法学科 林 聡准教授
2021.06.23	13:00～ 14:10	臨床試験登録について	理学療法学科 片岡弘明 准教授
2021.06.30	13:00～ 14:10	大学の評価	理学療法学科 増川武利講師
2021.07.14	13:00～ 14:10	研究・研修報告:生活行為向上マネジメント (MTDLP) 学内実習での取り組み～地域での学び～	作業療法学科 十河正樹講師
2021.07.21	13:00～ 14:00	研究に必要な統計学の用語・意味について	理学療法学科 小島一範助教
2021.07.28	13:00～ 14:00	国試塾リハビリアカデミー 養成校指導教員セミナーについて	理学療法学科 田中雅侑助教
2021.08.12	14:00～ 15:30	大切ないのちを守るために～私たちのできること～	社会福祉法人岡山いのちの電話協会 事務局長 草苺祐子
2021.08.18	13:00～ 14:00	2020年度の見学実習について	作業療法学科 渡部悠司助教
2021.07.16- 08.31 (オンライン)	13:00～ 14:00	東進オンライン配信セミナー 第2回「医療系学生への効果的な学修支援とは」	(第2回) 講演1 上武大学看護学部学部長 安部まゆみ

		<p>講演1 上武大学看護学部学部長 安部まゆみ「新生生の学習力を根本から高める指導のポイント」</p> <p>講演2 秋田リハビリテーション学院副学院長 靱山日出樹「国家試験まで影響を及ぼすリメディアル教育の意義」</p> <p>講演3 神奈川県立衛生看護専門学校教育担当副校長 照川眞木、第一看護学科副科長 川上敦子「学生の力を最大限伸ばす学修マネジメントの実践」</p> <p>講演4 株式会社ナガセ／東進ハイスクール大学事業部 「高校生の現状を知る～教科書の変遷から～」</p> <p>第7回「医療・栄養系学生への充実した学習指導のあり方とは」</p> <p>講演1 藤田医科大学保健衛生学部看護学科 三吉友美子 「”藤田イズム”に基づく学修支援の充実 “看護職者養成における“師弟同行”の重要性”」</p> <p>講演2 女子栄養大学短期大学部副学長 廣末トシ子「学生の基礎力向上を実現する栄養士養成教育のポイント」</p> <p>講演3 東北保健医療専門学校作業療法科教務部長 上遠野純子「リハビリテーション技術専門職である学生への学習指導のあり方」</p> <p>講演4 株式会社ナガセ大学事業部 「「医療系総合講座」「栄養系総合講座」の実践から見えてきたもの」</p>	<p>講演2 秋田リハビリテーション学院副学院長 靱山日出樹</p> <p>講演3 神奈川県立衛生看護専門学校教育担当副校長 照川眞木、第一看護学科副科長 川上敦子</p> <p>講演4 株式会社ナガセ／東進ハイスクール大学事業部 (第7回)</p> <p>講演1 藤田医科大学保健衛生学部看護学科 三吉友美子</p> <p>講演2 女子栄養大学短期大学部副学長 廣末トシ子</p> <p>講演3 東北保健医療専門学校作業療法科教務部長 上遠野純子</p> <p>講演4 株式会社ナガセ大学事業部</p>
2021.09.08	13:00～ 14:00	多軸関節運動の球面座標解析	作業療法学科 吉田直樹教授
2021.09.15 1	13:00～ 14:00	2020年度の教育成果・研究研修成果報告 Brief Report of the Dayの紹介	理学療法学科 明日 徹教授
2021.09.22	13:00～ 14:00	「解剖学教育と今後の担当科目について」 「解剖学教育と反転授業」	理学療法学科 佐々木教授 岡山医療技術専門学校理学療法学科 渡辺大喜
2021.09.29	13:00～ 14:00	自己紹介、生涯スポーツ実習について	理学療法学科 山下裕之講師

2021. 10. 13	13 : 00～ 14 : 00	電波と音楽 ～学生と共にロマンを求めて～	作業療法学科 安田従生教授
2021. 11. 17	13 : 00～ 14 : 00	リハビリテーション機器の安全管理ー放射線と電磁波ー	理学療法学科 小野俊朗教授
2021. 12. 08	13 : 00～ 14 : 00	①今年度の授業の反省②私立大学等經常費補助金（教育の質に 係わる客観的指標）	理学療法学科 下瀬良太准教授
2021. 12. 15	13 : 00～ 14 : 00	大学の評価 Ver. 2	理学療法学科 片岡弘明准教授
2021. 12. 22	13 : 00～ 14 : 00	昨年度と今年度の授業の取り組み	作業療法学科 勅使川原匡教授
2022. 01. 12	13 : 00～ 14 : 00	2022（令和4）年寅年の年頭にあってー学年進行期前半から 後半に向けてー	浅利正二学長
2022. 01. 19	13 : 00～ 14 : 00	定員充足	理学療法学科 増川武利講師
2022. 01. 26	13 : 00～ 14 : 00	国試対策 実習終了直後のデータ	理学療法学科 横山暁大講師
2022. 02. 09	13 : 00～ 14 : 00	小さなリハビリ工学とアジャイル開発	作業療法学科 吉田直樹教授
2022. 02. 16	13 : 00～ 14 : 00	「動画視聴状況による成績との関係性」 「月経は 公欠の理由となり得るか？」	岡山医療技術専門学校理学療法学科 渡辺大喜 理学療法学科 佐々木教授
2022. 03. 23	13 : 00～ 14 : 00	①卒論におけるヒトを対象とした場合の倫理審査申請について（倫理審査委員会より） ②学生募集についてできること（私 的見解） ③スポーツ系活動を支えるカーボン素材 ～2022 冬季 オリンピック北京大会を振り返って～	作業療法学科 安田従生教授
2022. 03. 30	13 : 00～ 14 : 00	運動学の授業内容紹介と授業評価について	理学療法学科 明日 徹教授

(2) SD 研修

日程	時間	テーマ	講師
5月28日	16:30~17:30	大学広報戦略	広報入試チーム 松本 知
7月28日	16:30~17:30	大学入学者選抜～日本の大学における入学者選抜制度と抱える課題～	入試担当主任 國枝 広
8月12日	14:00~15:30	大切ないのちを守るために～私たちが のできること～	社会福祉法人岡山いのちの電話協会 事務局長 草苺祐子

8月31日	13:00~15:40	2021年度障がい学生支援研修会	大阪国際大学・大阪国際大学短期 大学部 基幹教育機構/学生総合支援 部 学生相談室 木村真人
3月28日	15:00~15:30	IRについて	大学事務局長 本山康代

4. 学生支援

(1) 経済支援・奨学金制度

岡山医療専門職大学では優秀な学生を確保することを目的として、次の奨学金制度を設け、本山学園奨学基金より支弁している。

・本山学園特待生制度

総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校制推薦・公募制推薦）合格者、一般選抜（1次）受験者に対し、チャレンジ試験（特待生試験）を実施し、優秀な成績を取めた者を特待生として授業料を免除した。

ランク S 146 万円、ランク A 73 万円、ランク B 30 万円支給

・親族割引制度

親族が本学、岡山医療技術専門学校、インターナショナル岡山歯科衛生専門学校、西日本調理製菓専門学校（2004年3月以降）を卒業または在籍・同時入学の場合、2人目から授業料を免除した。

(2) 同窓会活動

岡山医療専門職大学同窓会を組織し、在学生への支援活動ならびに卒業後の支援を行っていく。

(3) 学友会

本学では、本学の全学生で構成される学友会により、学生相互の親睦の向上ならびに福利厚生に関する運営を行った。令和3年度には、学友会会則を定め、この会則に則り運営が行われている。

(4) 学生サポート

【オフィスアワー】

学生と教員とのコミュニケーションを充実させるため、各教員においては週2回のオフィスアワーを定め、学生との密な連携を図っている。

【学生相談室】

安心して学生生活を送れるように学内に学生相談室を開設し、学生からの相談を受けた。また臨床心理士による相談日を毎週水曜日に設け、精神的ケアの充実を図った。

5. 施設・設備の充実

(1) 学内無線 LAN システムの構築

本学では既に新館全フロア、本館の一部フロアに無線 LAN を整備していたが、学生への最適な教育と研究環境を整備するために、新たに本館に無線 LAN 工事を行い、本館・新

館共に全館 Wi-Fi 対応とした。

(2) 教育の情報化推進への取組

授業の遠隔配信等を目的とし、Zoom と Moodle を整備した。令和 2 年度は全授業を対面授業で行ったが、見学実習では Zoom を利用することで遠隔地の講師からも講義を受講することが可能となった。

(3) 換気・空調システムの導入

新型コロナウイルス感染症対策として、本館講義室、実習室、体育館等に換気性能に優れた空気清浄機を新設するとともに、空調用抗菌フィルターを設置し、クリーンな環境で安心して学生生活を送れるように配慮した。

(4) 講義室及び学生大ラウンジの新型コロナウイルス感染症対策

新館全講義室に机を増加することで、全講義室にソーシャルディスタンスを確保した。また新館全講義室の各机にパーティションを設置し感染予防対策を行った。本館 2F 学生大ラウンジには各机にパーティションを配置し、飛沫対策を講じた。北及び南入り口にサーモグラフィを設置し、入構者の体温チェックができるようにした。

6. 社会貢献活動

(1) ボランティア・地域貢献事業

大学コンソーシアム岡山を通じて、ボランティア学生から医療関係機関 152 施設への感謝・応援メッセージカードを贈呈した。本学からは 2 名の学生がボランティアとして参画した。また、エコナイトに参画し、「ライトダウン in 岡山医療専門職大学」を実施した。

(2) 講師派遣

外部団体からの依頼により教員を派遣した。

7. 健康管理

学生及び教職員の健康管理のため以下のとおり実施した。

【健康診断】

- ・教職員：4月28日（水）9:00～11:45
- ・学 生：（大学1年生）4月6日（火）13:00～17:15
（大学2年生）4月8日（木）13:00～15:15

【B型肝炎予防接種】

- ・前 検 査：4月6日（火）13:00～17:15
- ・1回目接種：8月11日（水）11:30～13:00
- ・2回目接種：9月17日（金）14:00～15:30
- ・3回目接種：1月14日（金）14:00～15:30
- ・後 検 査：2月18日（金）13:00～14:30

【四種抗体検査・予防接種】

- ・前 検 査：4月6日（火）13:00～17:15
- ・接種時期：5月～2022年8月までの予定 ※学生により、接種回数・時期が異なる。
- ・後 検 査：10月中旬の予定 ※対象者のみ実施予定。

【インフルエンザ予防接種】

- ・学内実施：12月8日（水）15:00～15:45 ※希望者のみ

8. 合議体活動

（1）運営評議会

学長、学部長、学科長、大学事務局長で構成され、月2回開催し、運営評議会の運営に関する事項、学部・学科運営に関する事項、教務に関する事項、学生指導に関する事項、学生の身分に関する事項、各種委員会に関する事項、教職員に関する事項、教学関連規程（学則を含む）の改廃に関する事項、教育課程連携協議会に関する事項等について審議した。

（2）教授会

学長、専任の教授、准教授、講師、助教で構成され、月1回開催し、教授会の運営に関する事項、教育課程の編成、変更、実施および講義・実習担当に関する事項、各種委員会に関する事項、学則に関する事項、学生の入学、転入学、編入学、科目履修、聴講、退学、休学、進級、留学、再入学、復学、転籍、除籍および卒業に関する事項、学生の試験に関する事項、学生の賞罰に関する事項、学生生活、学生生活等に関する事項、本規程の改廃に関する事項、その他教学運営上重要な事項等について審議した。

（3）学科会議

各学科学科長、全専任教員で構成され、月2回開催し、学科運営に関する事項、学科学生の教育に関する事項、学科教職員に関する事項等について審議した。

（4）教育課程連携協議会

学部長、各学科教務委員1名、学長が必要と認めた者1名、企業側等委員、各学科の教授会構成員から選出された者2名、学部全体から選ばれた者1名で構成され、令和3年10月5日（火）、令和4年3月15日（火）の年2回開催した。

（5）入学者選考委員会

学部長、専任教員4名、大学事務局担当者1名で構成され、不定期に開催した。入学者の選考・選抜に関する諸施策の立案・実施、入学者の選考に関する事項、入学者選抜試験の内容・配点・採点基準等に関する事項等について立案した。

（6）各種委員会

本学の運営を円滑に行うために必要な各種委員会を設置している。各種委員会は、専任教員によって構成される。各委員会で、教務内、学生支援、広報関連等の業務が円滑に進むよう調整される。各委員会の都合により、定期的な会議が開催される。

(設置委員会)

教務委員会、実習委員会、倫理審査委員会、大学紀要委員会、大学FD委員会、大学SD委員会、大学自己点検・評価委員会、広報委員会、学生委員会、国家試験対策委員会、大学コンソーシアム岡山（代表者会議、運営委員会、社会人教育委員会、就職支援委員会、共同教育委員会、地域貢献委員会、障がい学生支援委員会 各々年2回開催）

(7) 学園各種委員会

本学の設置校全体として連携して行うために必要な各種委員会を設置している。各種委員会は、各校を代表とする専任教員によって構成される。各委員会の都合により、定期的な会議が開催される。

(設置委員会)

学園連絡会議、学園FD委員会、学校法人本山学園自己点検・評価委員会、防火防災実務委員会、安全衛生管理委員会、学校法人本山学園ハラスメント委員会

9. 広報活動

「オープンキャンパスの参加者数増加」と「オープンキャンパスの満足度向上(出願者増加)」の2点を最重要課題として、定員充足を目標として以下の取組を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、直接対面での広報活動に制限があったため、本学のターゲット層に効果的なSNSを活用し、入学希望者一人ひとりにきめ細やかな広報活動を重点的に行った。

(1) オープンキャンパス・大学説明会

オープンキャンパスを7回、大学説明会を5回、年間12回実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったが、参加者数は昨年度より微増となった。ただし、複数回参加した高校生数(延べ人数)は減少した。

・延べ人数 325名(26名減) 実人数 256名(4名増)

「在学生プレゼン」や「在学生個別相談」など在学生の露出を増やし、在学生の生の声を聞いてもらうことで参加者目線に立ったイベントを開催することができた。次年度については学生広報サークルを立ち上げ、在学生主体のブースを設置し、さらに満足度の高いイベントを目指す。オープンキャンパスのコンセプトとして本学の特色である「理論と実践の架橋」を体感できるようにすべての項目を連動させていく。

(オープンキャンパス開催日)

【体験授業有り】 5月16日(日)、6月19日(土)、7月11日(日)、8月7日(土)、8月22日(日)、1月29日(土)、3月26日(土)

【大学説明会】 4月24日(土)、9月12日(日)、10月3日(日)、11月14日(日)、12月4日(土)

(2) 高校訪問

岡山県内、香川県、高知県、徳島県、愛媛県、鳥取県、島根県、広島県、兵庫県、山口県の高等学校・中等教育学校に対して680校へ訪問した。訪問時期に応じて、パンフレットの提供・各入学試験への出願依頼・各高等学校における進路状況調査を伺い、出願の促進を図った。本年度も高校3年生の生徒数減少や就職希望者増加といった厳しい状況下での訪問であったが、高等学校教員との良好な関係構築に努めた結果、高校教員からの紹介

も一定の効果が上がった。

岡山県、広島県からの入学者が大幅に増加したが、香川県からの入学者は半減した。本年度高校訪問を強化した兵庫県、山口県はあまり効果が上がらなかった。

(3) 進学ガイダンス参加

令和3年度会場型ガイダンスは新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、14会場が中止となったが、岡山県・香川県・広島県・高知県・島根県・兵庫県・愛媛県のガイダンスに39会場参加した。他大学や他分野と比較検討している高校生が多く、限られた時間の中でも本学の魅力を最大限伝え、ガイダンス参加者のニーズにあわせた資料と説明内容に気を配ることでオープンキャンパスへ誘導することができた。

校内ガイダンスにおいても進学ガイダンスと同様に参加回数は減少したが、岡山県内外の高校内で開催される校内ガイダンスへ50会場に参加した。オンラインでの校内ガイダンスには6回参加した。校内ガイダンスのメリットとして、高校生と20分～1時間話をすることができるため、信頼関係を構築することができ、オープンキャンパスへの動員に繋がった。

(4) 大学説明会・大学見学

Zoomを利用して、オンライン個別相談会を随時実施した。6名が参加し、そのうち5名が出願に至った。参加者数は少なかったが、効果は高かったため、次年度以降も継続していく。

(5) ホームページ・SNSを利用したWEB広報

①ホームページ

本年度はコロナ禍のため、効果的な広報ツールとしてホームページに動画を掲載するなどコンテンツを拡充した。アクセス数が大幅に増加した昨年度と同数のアクセスを確保することができた。過去3カ年のホームページの訪問者数は、次の通りである。

・令和4年度：108,498件 令和3年度：112,453件 令和2年度：63,034件

②ソーシャルネットワーク (SNS)

SNSについても積極的に情報発信を行った。SNSの中で最も効果的だったのはLINEであり、登録者数は1,149名(対前年113.5%)だった。令和4年度出願者の内58.8%がLINEに登録しており、継続的なコミュニケーションが出願誘因に明確な効果を示した。

次に効果的なツールはInstagramで、フォロワー数は現在280名(対前年177.2%)だった。また、本学新入生の内Instagramの検索もしくは閲覧者は77.6%(令和4年度新入生アンケート結果より)だった。在学生の様子を積極的に公開したことで、フォロワー数を大幅に増やすことに成功し、効果的に情報発信することができた。

(6) 高等学校教員対象説明会の開催

令和3年5月18日に中国四国地方の高等学校教員12名を対象とし、ライブ配信にて開催し、教育方針、教育内容の説明を行い、理解度を深めるとともに進路指導に活用していただいた。説明会に参加していただいた県内の高校からは最多となる5名が出願した。

(7) 大学案内

8月より制作を開始し、高校生目線に立って分かりやすく、伝わりやすい大学案内となるように表現やレイアウトを変更し3月下旬に完成した。

(8) 動画によるPR活動

本学では、在学生のいきいきとした表情を撮影するため動画制作を内製化し、オープンキャンパス動画2本、在学生インタビュー動画3本を製作した。YouTubeの総再生回数は3,000回を超えており、オープンキャンパスやガイダンス等においても効果的に使用することで入学後のイメージをもちやすくすることができた。

TV CMにおいては本学のTV広告を制作し、岡山県・香川県でOHK、西日本放送、山陽放送の3局、広島県で中国放送1局、合計4局で広告を行った。令和4年度新入生アンケートの結果、「本学のCMを見たことがある人」は63.5%で、岡山県および香川県からの入学者には効果的であった。広島県からの入学者は4人に留まり、広島県ではあまり効果が上がらなかった。

(9) 進学媒体(紙・Web)への参画

リクルート、マイナビ、JSコーポレーション、キッズ・コーポレーション、日本ドリコム等が発刊している進学情報誌や各業者が運営するWeb進学サイトに、学校情報を掲載し、広報活動を行った。Webサイトによってはオープンキャンパス申込機能が搭載されており、特に効果的だったのがリクルートで9名がWebサイトを経由してオープンキャンパスの参加申し込みがあった。

(10) DM(ダイレクトメール)の制作、発送・配信

はがき・Eメール等でDMを作成し、本学と接触のあった進学希望者に対して、8回発送・配信した。内製し、見やすくかつ本学の魅力が最大限伝わるように創意工夫を行った。オープンキャンパスや入試等、送付時期に合わせて内容を変更し、新しい情報を発送・発信するよう努めた。

10.入学者選抜

令和3年度の入学者選抜の実績を元に、入学者選考委員会で選抜方式、日程、内容等を検討し、総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校制、公募制)、一般選抜、一般選抜大学入学共通テスト利用方式の5つの選抜方式を実施し、成績優秀な人材を確保することに成功した。学校推薦型選抜(指定校推薦)志願者数は令和3年度入学者選抜より大幅に増加したが、総合型選抜志願者数が減少した。また一般選抜志願者は、理学療法学科は令和3年度入学者選抜よりも増加したが、作業療法学科が大幅に減少した結果、定員充足には至らなかった。

【入学者選抜】健康科学部 (理学療法学科・作業療法学科)

- ・総合型選抜(9月～12月計3回)
- ・学校推薦型選抜(指定校制)(11月計1回)
- ・学校推薦型選抜(公募制)(11月～12月計2回)
- ・一般選抜(1月～3月計4回)

- ・一般選抜大学入学共通テスト利用方式（1月～2月計2回）

11. 申請関係

- ・学則変更届

12. 特記事項（新型コロナウイルス感染症関連）

●新型コロナウイルス対策委員会

令和3年度は、本学園、岡山県及び全国の感染状況により計9回開催した。また感染状況に即応して全教職員や全学生に対して注意喚起文、感染対策の具体的内容、感染者や濃厚接触者になった場合の対応の流れ等を発信し、絶えず感染対策への注意喚起を図った。

●イベントについて

入学式と卒業式は感染対策を徹底して限られた参加者により実施したが、学園祭と節分については中止した。

●授業等について

- ・感染対策を徹底してほぼすべての授業を対面で行ったが、前期末に感染者が出たので、後期試験を1週間延期した。

・見学実習

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から医療機関での実施は行わず、医療機関から講師を招聘した対面講義もしくはZoomを利用したWeb講義で代替した。

日程	対象学科	講師			オンライ ン
		医療機関名	役職	氏名	
2月15日 (火)	作業療法学科 (18名)	井原市立井原市民病院	作業療法士	佐野 裕和	●
2月17日 (木)	作業療法学科 (18名)	医療法人 渡辺医院 老人保健施設 ゆめの里	作業療法士	中空 聡志	●
2月21日 (月)	理学療法学科 ・作業療法学科 (87名)	一般財団法人 操風会 岡山旭東病院	診療技術部長	片岡 孝史	
2月22日 (火)	作業療法学科 (18名)	医療法人精華園 海辺の杜ホスピタル	作業療法士	佐野 秀平	●
2月22日 (火)	理学療法学科 (69名)	元 横浜ベイスターズ	理学療法士	高橋 塁	
2月24日 (木)	理学療法学科 (69名)	KKR 高松病院	理学療法士	長井 梓苑	
2月28日 (月)	理学療法学科 ・作業療法学科 (87名)	公益財団法人 操風会 岡山リハビリテーション病院	看護部長	植田 明美	●

3月1日 (火)	作業療法学科 (18名)	社会福祉法人ファミーユ高知 しごと・生活サポートセンター ウェーブ	作業療法士	中越 太一	●
3月1日 (火)	理学療法学科 (69名)	株式会社西日本ファーマシー	介護・リハビリ事業部	永岡 誠司	●
3月2日 (水)	理学療法学科 ・作業療法学 科 (87名)	医療法人社団 永光会 水永リ ハビリテーション病院	作業療法士	古澤 潤一	
3月3日 (木)	理学療法学科 (69名)	医療法人社団 永光会 水永リ ハビリテーション病院	理学療法士	宮内後 栄次	

●朝食サービス

例年行っていた朝食サービスを新型コロナウイルス感染症対策のため、年2回に限定して行った。

●入学者選抜

総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等において新型コロナウイルス感染症により受験できなかった場合の追試験日を設定し、追加入学検定料なしで受験できる機会を設けた。